

所属 国際社会学部国際社会学科	准教授 氏名	長谷川かおり	大学院における研究指導担当 資格の有無 (無)	(表24)
I 教育活動				
教育実践上の主な業績		年月日	概	要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)				
経済学教育における実験の導入		2004年より毎年	経済学の諸原理を市場や交渉の実験を教室内でを行い、学生に分析をさせ、原理と照らし合わせて理解を深める。毎年、ミクロ経済学あるいはゲーム理論、入門の経済学の講義で数回に一度このような形で学んだことを確認させる。	
地域社会創生型インターンシップの導入		2005年より毎年	地域の子育て支援NPOと連携をし、女性のライフコースの変化および、戦後社会の変遷と家族と子どもの生活の変遷、現代の子育て環境などを座学で学び、実際に子育て支援ボランティアとして活動をさせ、自己のライフコース、やキャリア形成、地域社会とのかかわりを考えさせるプログラムを創出。地域のNPOとの協同関係を築いた。	
グローバル化と外国人労働者問題：経済理論と異文化理解教育プログラムの展開		2005年	外国人労働者問題を海外労働力移動として経済学的視点から観察し、その社会に与える意味を一般均衡理論をベースにしたチャートで理解を深めさせた。その上で、学生に実際の外国人労働者の働く現場および家庭と交流をさせ、異文化理解の点からこの問題を考えさせた。(この学生研究は学長賞受賞)	
平和のための社会科学：1・2年生向け導入授業内容の開発		2006年より毎年	社会科学的知見の平和研究への応用を1,2年生むけにまとめた。現代史のリメディアル、国際法、人権論、貿易システム、フェアトレード、平和構築支援、社会開発のトピックを高校生レベルの知識から理解できるように、パワーポイントと配布資料で構成した。	
キャリア教育プログラムの開発		2007年度より毎年	キャリア教育的視点と大学のリベラル・アーツ教育の視点から、初年次生に導入教育を行った。適切な自己表現や自己認識と社会認識の発展には、相関関係があることから、学生に自己分析や自己表現、職業選択ワークなどの実践をさせながら、社会科学的視野の広がりを与えた。	
産学協同的研究プログラムへの参加		2008年度	神奈川経済同友会の主催する産学チャレンジプログラムに参加し、研究開発型インターンシップとして、企業への取材をふくめ、マーケティング調査の指導、企画立案、その案の経済学的あるいは経営学的根拠を学問的に学ぶ授業プログラムを展開中である。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
本学授業用の経済学実験の設計および教材		2004年より毎年	経済学の理論を考えるための実験を、毎年4つ作成。	
「共生」をコアとする「共に学びあう」教育内容・方法の構築		2005年	共生を可能にする資源配分システムについて、人間開発の視点から教材を作成	
日本で働いてくらす外国人 (学生と共著の報告書)		2005年	グローバル化と外国人労働者問題をわかりやすく高校生レベルに理解可能な教材を学生と作成。	
平和のための社会システム：e-learning		2007年	平和のための社会科学教育の講義をe-learning教材にまとめた。	
インターンシップハンドブック		2008年	インターンシップに出る学生のためのハンドブックを作成した。	
子育て支援インターンシップ報告書		2007年	数年にわたる子育て支援への学生の取り組み、子育て支援センターの現状などを報告書にまとめた。	

3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 特になし。					
4 その他教育活動上特記すべき事項 公務員受験生の個別指導		2004年より毎年	経済原論・財政学・数的処理・判断推理などを公務員試験受験希望で予備校に通う余裕のないの学生に平均週2回、授業とは別に個別指導した。公立保育士・市役所職員・国家Ⅱ種などに合格。		
II 研究活動					
著書・論文等の 名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌 （及び巻・号数）等の名称	編者・著者名 （共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
現代思想の散歩道：「ア ローの社会選択論と厚生 経済学」	共著	2004年7月	日本評論社	倉林義正・香西泰・長谷川か おり編著	213頁～234頁
多文化と自文化：「雇用 関係の各国比較」	共著	2005年9月	森話社	石川卓・竹下裕子編	146頁～165頁
論文					
福祉国家の可能性	単著	2004年7月	経済セミナーN0.597 日本評 論社		21頁～27頁
市場経済と集団形成	単著	2005年3月	現代史研究 第1号 東洋英 和女学院大学 現代史研究所		26頁～44頁
昔の子ども今の子ども一 家族のつくりかた、つく られかた	共著	2006年6月	現代史研究 第2号 東洋英和 女学院大学 現代史研究所	上祥一郎・湯沢雍彦・長谷川かおり	75頁～97頁
解説家庭経済	単著	2007年3月	家庭経済復刻版 クレス出版		別冊
家庭内生産活動の経済モ デルー市場経済とデュア ル均衡分析序論	単著	2008年3月	現代史研究 第4号 東洋英和 女学院大学 現代史研究所		1頁～14頁
III 学会等および社会における主な活動					
特になし。					